

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/11/03～2018/11/29)

1. 勉学の状況

留学先で受講するコースは Admission 申請をしたときに 1 年間分を決めて提出してあります。なので基本的にはその通りに受講していくのが普通ですが、私はここに来てから将来のプランとかやりたいことがだいぶ大きく変わってしまったので、秋学期は計画どおりに受講して、春学期からのコースは変更してもらう予定です。International Office では一人一人にコーディネーターがついているので、相談することが可能です。それから、渡航前は大学を 4 年で卒業できるように単位調整をしていましたが、こちらで過ごすうちにもう一年やってもいいんじゃないかなと思うようになりました。それは行きたい方向性が変わったからでもあります、大きく影響したのはやはり周りの人達です。同じく交換留学生として日本から来ている人達や、世界の各地から来ている人達、スウェーデン人の学生たちと生活しているなかで、日本特有の既成の“ルール”に乗って行く必要もないんだなあと思うようになったことが一番大きいです。本当に色んな考え方がいて、それぞれ経験してきたことや今持っているもの、これから目指すものが全く違って、そういう人たちに刺激されて私ももっと自分自身のアイデンティティを深めたいという気持ちが生まれてきました。将来は海外で働きたいという考えを持つようにもなりました。渡航前、同級生のみんなが 3 年夏の就活インターンの準備を始めた頃に私は留学の準備をしていたので、就活に対する焦りはありました。しかし、今 3 ヶ月目にして既にこの道を選んで良かったと思っています。この最高に魅力的な人達との出会いを、自分の人生を振り返った時に「幸運だった」と言うことができるように、彼らに負けなくらい私も魅力のある人間になりたいと思います。だから、これから留学を考えている人や予定のある人にはあまり就職や卒業のことについて心配しすぎないでほしいです。決めすぎて自分を縛ってしまうと、柔軟に物事を考えることができなくなり、せっかく留学に来て視野が狭いままになってしまうかもしれません。一度ルールを意識しなくなると、今までいた世界が小さかったと気づけるのかなと思います。

2. 生活の状況

今月は ESN という学生団体が主催するロシア旅行に参加してきました。船でフィンランドのヘルシンキに寄って 2 日目にロシアのサンクトペテルブルクに到着しました。通常旅行でロシアに行く時は観光ビザが必要ですが、これはビザなしで行けるツアーだったのでとてもいい機会でした。サンクトペテルブルクは街全体が世界遺産に認定されていると聞いていましたが、想像よりも古汚い建物が多かったイメージです。教会や宮殿など古くからあるものはヨーロッパの感じに少しアジアが混ざったようなとても不思議でとても美しいと思いました。ただ、観光している

際にほかのヨーロッパの国とは少し違う、未知な国の怖さを少し感じました。特に入国審査では‘ランダムチェック’といって怪しい人だと疑われたり、信頼性の低い国から来た人の場合、地下室に連れていかれて何分間か質問を受けるシステムがあると聞きました。そして、実際に私が入国審査の列に並んでいるときに目の前でランダムチェックがあって、2人の男性と1人の女性がどこかに連れていかれるのを見ました。あの時ほど JAPAN パスポートの信用力を願ったことはなかったと思います。

日本でクリスマスといえばカップルがいちゃつき回るイベントですが、スウェーデンでは家族でのんびり過ごすのが定番です。なんとありがたいことにも、9月に一度お邪魔したスウェーデン人の友達のお母様から実家で一緒に過ごそうと誘っていただいたので、一緒にのんびりさせてもらおうと思っています。ただ、その友達は現在海外留学中なので私と彼の家族でクリスマスという不思議なことになりそうです。正直かなり緊張や不安がありますが、チャレンジ精神でやってみたいと思います。この、どうにかなる！やってみよう！という精神はこの短期間でだいぶ鍛えられたと実感しています。

最後に 11 月の天気について書いて終わりにしようと思います。今月の中旬くらいからは平均気温が 0℃程度で、冬に入った気持ちでいましたが、スウェーデン人が言うにはまだ秋の最後だそうです。昨日は特に寒くて、最低気温がマイナス 15℃でした。雪は降っていないのに草は凍って道路はツルツルで、まるで街全体が氷で包まれているようです。スウェーデンの冬の空気も家の中はぼっかぼかなことも、なんだか地元の北海道に似ている気がしてとても住みやすく感じています。

写真は左上：ロシアへ行く途中に寄ったフィンランドのヘルシンキ、右上：サンクトペテルブルクの宮殿広場、左下：モスクワ広場のレーニン像、右下：ロシアからの帰りに寄ったエストニアのタリン

